

安全標語の最優秀賞に

清瀬久留米と文京

【労働対策部・唐澤一喜記】 48人の参加で当面の運動を確 認しました。 建設アスベスト訴訟全国連 絡会の清水事務局長から「最 高裁後の訴訟到達と課題」、東



安全標語に選ばれた作品を掲げる支部の代表者左は川口俊彦労働対策部長

京労働安全衛生センターの仲 尾事務局長より「建設現場の 作業改善チェックポイント」 について講演を受けました。 支部での選考で勝ち抜き、 選ばれた安全衛生標語(32本

支部)を活動者会議の参加 者全員で投票。厳正な投票・ 集計で決定しました。今年度 は、左記の標語をスローガン に安全衛生対策をすすめてい きます。

《最優秀賞》「ゼロ災害続 けることもプロの技」(清瀬 久留米支部)、「毎回やっ てるわかってるその気の緩みが 事故招く」(文京支部)

《優秀賞》「安全は変わら ぬ明日へのパスポート」(墨 田支部)、「今日もまた家族 が願う安全に笑顔で帰ろう職 場から」(江戸川支部)、「危

ないぞ言える雰囲気聞く気持 ち」(三鷹武蔵野支部) 連総会決議に基づくものでなければ なりません。 NATOは、加盟国に武力攻撃が あれば全加盟国に対する攻撃とみな して集団的自衛権を行使する軍事同

強制とんでもない マイナカードは断念を

7月19 日、第92回 の総会が国会 前で開催さ れました。 猛暑の中、 1000人 (東京土建 は56人)の 参加となり ました。



集会に参加した仲間

冒頭で、 戦争させな い1000 人の命の問題です。勝手に閣議 決定で決めていいものではない。国会でしっかりと熟議す るものだ」と述べました。

政党からは、福島瑞穂参議 院議員(社民)、宮本徹衆議 院議員(共産)、参議院会派 の沖繩の風(メッセージの み)、打越さく良参議院議員 (立民)から連帯のあいさつ をいただきました。 共通番号いらないネットの 集会に参加した荒川支部の

アスベスト 全員救済を目ざして 屋外作業者も同等と訴える

7月19日首都圏アスベスト 訴訟東京3陣、第15回期日行 動が東京地裁前で行なわれま した。全体で200人、東京 土建から121人が参加しま した。 弁護団からは佃俊彦弁護士 の陳述をお願い しました。最高 裁の判決の誤り を認めさせ全員 救済を目指して



全員が救済されるまでガンバロー

多分野に協力を広げると表明しまし た。特定の「価値」に賛同する国で ブロックをつくり、ロシアに軍事的 対応を強め、中国にも対抗すること 自体、世界に分断を広げ、戦争への 危険性をますます高めるだけです。

日本は非軍事で支援を

盟です。昨年、全面改定した「戦略 概念」では、ロシアを「最も重大か つ直接的な脅威」とし軍力を強化 して対抗することを決めました。中 国とロシアの戦略的協力関係が「わ

今月の主張

7月12日にリトアニアで北大西洋 条約機構(NATO)首脳会議が開 かれ、ウクライナへの 軍事支援の強化を決め ました。岸田首相も出 席し、NATOと新た な協力文書を交わしま した。会議がロシアに よるウクライナ侵略を 国際法や国連憲章に反 するとして非難したの は当然ですが、この問 題の解決は、国連憲章と、即時、無 条件、完全撤退をロシアに求めた国

都市における超高層建築とその公共性をめぐって

建築家・静岡文化芸術大学 准教授 松田 達さん

パリの建物高さ 制限をめぐる市民 の議論を通じて、 神宮外苑の再開発 や超高層建築、都 市空間は誰のもの かを考えます。

第一特集は、社 会に発信する表現 者たちとして、テ レビで会えない芸 人の松元ヒロさん のインタビューな ど。第二特集は、 働く女性の現状と 課題を、技能者や 組合視点で探りま す。 4月に成立した



No.127 2023.7

『建設労働のひろば127号』のご案内

フリーランス法の 可能性と課題につ いては、トピック ス&レポートで。 「ひろば」のご 購読は、所属の支 部までお問い合わせ 下さい。 127号 7/25発行

増山國吉さんは、「マイナ ン パーカードについての発言が よく理解できた。これを地元 にとって帰って運動します」と言っていました。

第63回都連大会を開催 新委員長に山本享氏

7月13 日、アト ホテル日暮 里ラングウ ッドにおい て、第63回 となる全建 総連東京都 連の定期大 会が開かれ ました。

久しぶり の完全対面 による開催 となり、14 新役員選出では動きがあ り、6期にわたり委員長とし て都連をけん引した菅原良和 さんが退任となり

ました。新しい委 員長には山本享さ ん(建設ユニオン) が選出されまし た。 大会表彰では5 人が表彰され、東 京土建からは千葉 一郎さん(目黒支 部)と松広孝幸さ ん(本部書記局) が表彰を受けまし た。



新委員長の山本享さんがあいさつ

新委員長に山本享さんがあ いさつしました。 新役員選出では動きがあ り、6期にわたり委員長とし て都連をけん引した菅原良和 さんが退任となり

業を行なった労 働者を救済の対 象から外した最 高裁神奈川2陣 判決を覆すた め、渡辺副委員 長と川口労働対 策部長に法廷で の陳述をお願い しました。最高 裁の判決の誤り を認めさせ全員 救済を目指して 闘おう」と述べました。

一会場での報告集会では、井 上聡弁護士が発言。「解体・ 改修業者に対するメーカー責 任を否定したことが誤りであ ることを証言したことは、全 国的にも重要な1日になる」 と述べました。

その後、衆議院第2委員会 館へ移動し、「建材企業が参加 する補償基金制度の創設」を 求める請願の紹介議員を要請 する行動に取り組みました。